氏　　名　藤井智康（ふじい ともやす）

所属・職名　理科教育講座（生命・地球科学）・助教授

研究室電話番号　０７４２－２７－９２０３（ダイヤルイン）
０７４２－２７－９２８９（FAX）

電子メールアドレス　fujii@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位　岡山理科大学大学院理学研究科後期博士課程単位取得退学（1996）
博士（理学）（岡山理科大学 1998）

所属学会等　日本陸水学会，日本海洋学会（沿岸海洋部会），水環境学会，海洋気象学会，瀬戸内海研究会議

専門分野　陸水物理学，沿岸海洋学

研究と教育について

研究テーマのキーワードとしては，水圏環境として山－川－海を含めた流域を通じての一貫したフィールドにおいて (1)湖沼環境（水質特性・物理環境特性） (2)河川環境（河川水質変動・ダム下流域問題）(3)沿岸海洋環境（アマモ場，水質変動）(4)酸性雨（山地や渓流河川の陸水に及ぼす影響）などを中心にフィールドワークを通じて研究を行っていきます。これらの研究を行ううえで，産・官・学一体となった研究を行う必要があり，また，「Think Global，Act Local」で研究を進めて行きたい。

教育の方針としては，フィールドワークを中心に自然を肌で感じ，自然現象を捉え，知識を詰め込むだけの教育ではなく，自然現象に対して素朴な疑問を抱き，その現象のメカニズムを具体的に追跡し，自ら問題解決できるようにしていきたい。

主な研究業績

・Fujii, T.(1997)：Relationship of internal waves with tidal and wind drift effects and propagation of internal Kelvin waves in a brackish lake - Lake Nakaumi.Jpn.J.Limnol.,58:241-260. 本論文は，第２回日本陸水学会 吉村賞 受賞論文
・Fujii, T.(1998)：Relationship between Internal Oscillation and Movement of Anoxic Water Mass in a Connected Brackish Water Regions - Lake Nakaumi and the Ohashi River,Jpn.J.Limnol.,58：1-12
・森脇晋平・藤井智康・福井克也(2003)：大橋川における高塩分水塊の遡上現象，LAGUNA（汽水域研究）10：35-45
・庄田里恵・山口一裕・北岡豪一・藤井智康・赤松純平(2005)：温泉の揚湯中における水温・水位・水質変化の追跡－花崗岩深部掘削温泉の例－，日本陸水学会第 70 回大会講演要旨集：210
・Endoh, S., Fujita, S. Nakai, Y. Okamura, H. Oyagi, T. Fujii, S. Tsukawaki and S.I.Monichoth(2005): Continuous Measurement of Water Temperature in Lake Tonle Sap, First International Symposium on Evaluation of Mechanisms Sustaining the Biodiversity in Lake Tonle Sap, Cambodia, International Research Missions:29-30

主な授業担当科目

大学院：流体地球科学，流体地球科学演習
学　部：水圏科学，地球物理学実験，自然誌特別講義 B-Ⅱ(地学分野)，地学概論Ⅱ，地球環境科学(旧自然誌概説 B)(分担)，総合教育基礎ゼミナールⅠ(分担)，地学実験(分担)，先導理数基礎ゼミナールⅠ，Ⅱ(分担)

学会活動　日本陸水学会　将来計画検討委員（2005.10～現在）
瀬戸内フォーラム　in 奈良　運営委員（2005.8～2005.9）
第 2 回日韓合同陸水シンポジウム実行委員（2004.10～2005.9）
第 70 回日本陸水学会　実行委員（2004.10～2005.9）

社会的活動　奈良県自然環境保全審議会　温泉部会委員（2004.4～現在）
奈良県環境審議会専門委員（2005.2～2005.4）
水圏環境動態調査検討委員会委員（2004.7～現在）
島根大学汽水域研究センター協力研究員（2004.5～現在）

講演のテーマ　都市化と汽水域の水環境変化－中海・宍道湖の例を中心に－（2004.11.13 法政大学エコ地域デザイン研究所 エコプロジェクト３（水文・地理）第二回研究会）